

NO.160

# きたやち

2011年9月14日

河北町立北谷地小学校

## 地道な努力と力の結集

校長 八矢好幸

「赤組得点 688点 白組得点 619点」 「応援賞得点 赤 283点 白 293点」  
「優勝 赤組！！、 応援賞 白組！！」

優勝・応援賞が告げられた瞬間、子どもたちの中から大きな歓声とため息がもれました。優勝と応援賞の完全優勝をめざして頑張ってきた子どもたちにとっては、優勝や応援賞は大きな喜びであり、どちらかを逃したことは大きなショックだったにちがいません。それが歓声とため息になって表れたのです。

運動会に向けての準備は、7月下旬の応援団幹部立候補から始まりましたが、実質的には8月23日の水泳大会が終わってからわずか1週間と少ししかありませんでした。その間、1年生は新入学児童へのメダルづくり、2年生はポスター制作、3・4年生はグラウンドの石拾い、5年生は応援看板づくり、6年生はチームの作戦を練り、そして3年生以上の応援団は応援歌をつくったり応援の振り付けを考えたりして、まさに全校生が一丸となって作り上げた運動会でした。

でも実際は、今年の運動会も4月に縦割り班ができたときから、熱戦の火蓋は切られていたのです。毎日の清掃活動やサトイモの栽培活動、給食、北小ギネスでも班の協力とチームワークが求められました。特に今年度は春のマラソン大会の順位と水泳大会の応援も運動会の得点と応援賞に加算されました。毎日積み上げられた縦割り班での協力や助け合い、そしてお互いの切磋琢磨が運動会の場で表現されたのです。



また、水泳大会当日も驚いたことがありました。夏休み前の体育の授業では、25mを泳ぐことさえ大変な子どもが何人もいたのです。ところが、水泳大会当日の泳ぎを見たら、25mどころか50mや100mに挑戦して泳ぎきっていたこと、無駄な動きがなくてきれいなフォームになっていたことに感心しました。夏休み中に目標を持ってしっかり練習していたことがよくわかりました。

何事も、一朝一夕あるいは一足飛びにできるものではありません。毎日毎日こつこつと地道で確実な努力を積み重ねること、そして一人一人は小さな力でもみんなの力を結集させると大きな実を結ぶということを、この二つの行事を見て感じたところです。これも大事な「行動力」なのです。

「AKB82 熱く燃えろ 心を一つに Bダッシュ」のスローガンのもと、「自主性」を合言葉に自分が持っている力を出し切った運動会、子どもたちの精一杯頑張る姿と団結力を見た多くの方々の目に涙が浮かんでいました。

地域と保護者のご協力に深く感謝申し上げます。